

## 2024 年度 夏のこどもの冒険学校 こどもの冒険学校実行委員会

夏のこども冒険学校が、8月24日（土）～25日（日）滋賀県大津市葛川坊村町で実施されました。宿泊は「大津市立葛川青少年自然の家」。沢や川に近く、キャンプ場や野外炊飯場が併設され、プレイルーム（体育室）や乾燥室など様々な設備が整った立派な施設です。今年の募集にも常連親子の方や初参加の方、高学年の児童など 多くの申し込みがあり大変な人気でした。定員オーバーのためお断りした家族もありリピーターの方は大変残念がっておられました。

1日目の午前は「自然の家」の近くの古民家見学です。管理人のご婦人がとても親切で、見学後は室内や庭でお弁当を食べさせていただきました。暑さを気にせず食事ができ熱中症予防になり、大変助かりました。

その後は沢遊びです。用意された沢用の足袋やわらじを履き、ヘルメットとライフジャケットを身につけ、完璧な安全装備に身を包むと気分もアップ!! カラフルでカッコイイお互いの姿を見合い、大はしゃぎです。高学年や中学生は幼児グループを待ちきれずスタートする程でした。沢遊びの場所は葛川の支流の溪谷です。普段体験出来ない“少し危険ばい、滝や流れの速い場所での沢遊びは子ども達の冒険心を駆り立てたようです。高学年と中学生はよほど楽しかったのか帰りのバスの中で「二日目も滝の方に行きたかった。」等と感想を話していました。溪谷の水は冷たいので、体が冷え過ぎないようにスタッフが用意した温かいお湯を時々呑んで楽しく遊びました。流れが速く深い場所では、お父さん方が小さいお子さんを渡してくださり、本当に助かりました。ありがとうございました。帰り道で生きている「ヒル」に遭遇し生物学習もできました。

午後2時から開校式。管理者の方から施設の利用説明やきまり、安全のために気を付ける事を聞いた後、各部屋（二段ベッド）に入室。荷物を片付けた後はプレイルームで「わらじ（草履）作り」に挑戦です。白いナイロンロープを両足の親指に掛けて編み込みながら作ります。先生（スタッフ）の説明と実演を見学しながら自分達も同時進行で作っていきます。昨年も参加した子ども達は、思い出すのも早く教え合いながら集中して取り組んでいました。スタッフからは「みんな成長したなー！」と感激の言葉が何度も出ていました。一方3歳から年中さん位までの子ども達は、広い室内を楽しく元気に走り回りすぐなかよしになっていました。

食事の準備を今年は中学生と6年生が担当しました。三角巾用のバンダナとマスクを身につけ、厨房の方の説明を聞いて、上手に配膳をしてくれました。献立は管理栄養士さんが成長期の子どもに合わせて考えた内容で、栄養バランスが良く量もたっぷりであり、お代わりもできました。また、アレルギー除去食にも丁寧に対応していただきました。

夜は野外でキャンピヤーの予定でしたが、雨が降ったので屋内でキャンドルセレモニーを行いました。火の神様の登場から始まり、歌やゲーム等をたくさん楽しみました。今

年も一番の盛り上がりは「ハンカチ落とし」でした。ここでも中学生が小さい子に合わせてスピードを加減する姿に、成長を喜ぶスタッフでした。

二日目の午前のプログラムは野外炊飯です。1グループ8人前後の7チームでかまど作り班と料理班に分かれてカレーを作ります。施設の方が説明され用具や食材なども人数分きっちりと準備して下さるので、全員が協力してとてもスムーズにカレー作りに取り組みました。ご飯は食堂で炊いてもらったのでお代わり自由でした。ゼリーやジュースもあり皆さん本当に満腹になるまでカレーライスを堪能されました。また野菜の切り方や煮込み方や火加減等で、全く同じ食材を使っても各鍋の味が違うことを発見し驚く子ども達もいました。後片付けも協力して出来ました。ここでも中学生と高学年が力仕事や難しい作業を積極的に引き受け最後まで頑張ってくれました。異年齢集団の中で自分の役割を自覚した自主的行動に感激した一場面でした。

昼食後は宿舎近くの葛川本流で川遊びを楽しみました。お天気も良く、水温が27度と高かったので広い川で水遊びを大いに楽しみました。水中生物を探す子、水流下りを何度もする子等々、プールでは体験出来ない遊びに歓声を上げながら夢中になって遊び続けていました。

午後2時退所式で施設の方にお礼を言い、無事冒険学校を終わりました。

保護者の感想は「初めて自然と触れ合い人生観が変わった。」「自然をなめていた。体力をつけて山にも登りたい。」「川遊びは初めてだったが楽しかった。また参加したい。」等々でした。

最後に「こどもの冒険学校」からのお願いです。現在沢遊びや草履作り、野外炊飯などに取り組んでいます。それは成長期の子どものにとって自然体験や労働体験が大変重要な役割を果たすからです。手指や体を使うことは脳の活性化に繋がります。また自分の身体を思う様に動かす（コントロール）訓練は命の安全に不可欠です。大人の作業を注意深く観る観察力や作業を続ける集中力がつきます。教えてもらったり、自分が教えたりする事で他人と関わる能力が育ちます。そして達成感を味わい、自己肯定感を高めることにもなります。

子ども達が楽しく取り組める体験をご存知の方は、是非ご連絡ください。また、興味のある方はお試しスタッフとしての参加も大歓迎です。

子育て世代のみなさん、  
「冒険学校」行事への参加をお待ちしています。

